

国語「現代文B」	単位数	2単位
	学科・学年	工業科・3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	新編 現代文B 改訂版（大修館書店）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
一学期	1 若い人たちへ どんな人になりたかったか？	4 5	・筆者が「コーノさん」のどのようなところに心を引かれたか文章から読み取り、筆者の思いを理解する。 ・自分はどんな人になりたいか、考えをまとめ発表する。	中間
	2 小説を楽しむ（二） おぼろ月	6 7	・主人公を取り巻く状況を把握し、人物像や微妙な心の揺れを読み取る。 ・江戸時代の習俗や風情に関心を持ち、時代小説を通じて読書に親しむ態度を深める。	期末
二学期	1 伝統を受け継ぐ ひかりのどけき春の日に	9	・日本の古代文化人たちの、それぞれの桜に対する思いを読み取り、我が国独自の文化や美意識を理解する。	中間
	2 社会に生きる 鉄を削る	10	・旋盤工たちの仕事に対する姿勢や思いを読み取る。 ・「ものづくり」に必要な心構えとは何かを考え、自らの職業観や人生観を深める。	
	3 名作を読む（二） こころ	11 12	・日本の文豪の作品に触れることによって、日本文学や日本文化に対する関心を深め、読書意欲を高める。 ・「先生」や「K」の行動がどのような心の動きを反映したものかを読み取るとともに、それぞれの人物像を理解する。	期末
三学期	1 名作を読む（二） こころ	1	・「K」に対する罪悪感を抱えつつ謝罪できない「私」の心の揺れを、丁寧に読み取る。 ・「K」の生き方についての理解を深め、彼の「道」や「理想」から「覚悟」の意味や自殺の原因について深く考察する。	学年末

(2) 評価の観点及び内容

話す・聞く能力	・他者との話し合いの中で、相手を尊重しながら偏りのない自己の意見を言うことができたか。 ・話したり聞いたりすることで、自己の作品理解や事物への理解・関心が深まったか。
書く能力	・読み取った内容を踏まえて、相手に伝わりやすい表現や語彙で効果的に書くことができたか。 ・情報の発信者として、誤解のない文章を適切なメディアで書くことができたか。
読む能力	・文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に読み取ることができたか。 ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえることができたか。
<p>・成績評価は、各単元の重点的な学習の観点に鑑み、定期考査、平常の学習活動、レポート（作文）や提出物（課題・ノート・プリント）、小テスト等により総合的に評価する。</p> <p>・学年の成績は、各学期の成績の相加平均を原則とする。</p>	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力向上テスト、漢字検定などを利用し、国語常識と語彙の獲得に努めましょう。 ・予習・復習を確実にし、課題を期限までに提出するなど、日々の学習活動を大切にしましょう。 ・平素から、社会的な事象に関心を持ち（新聞に目を通す等）、読書に励み、様々な言語活動に関心を払いましょう。
--